



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月10日
東

上場会社名 日本カーボン株式会社

上場取引所

コード番号 5302

URL <https://www.carbon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮下 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部長

(氏名) 藤川 浩史

(TEL) 03(6891)3730

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	27,479	0.2	3,465	△26.9	3,687	△24.2	4,590	59.0
2024年12月期第3四半期	27,423	2.2	4,741	10.3	4,865	5.8	2,887	9.7

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 4,249百万円(8.0%) 2024年12月期第3四半期 3,934百万円(△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	415.15	—
2024年12月期第3四半期	261.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	84,287	62,681	63.6	4,849.02
2024年12月期	82,348	60,819	63.2	4,704.60

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 53,616百万円 2024年12月期 52,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2025年12月期	—	100.00	—		
2025年12月期(予想)				100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,400	△4.1	4,800	△24.0	5,300	△20.8	5,900	44.7	533.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社、除外 —社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	11,832,504株	2024年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	775,347株	2024年12月期	776,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	11,056,842株	2024年12月期 3 Q	11,051,292株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税引上げ政策、欧州の製造業の景気減速、中国の不動産不況の継続、ウクライナ情勢の長期化などの影響により先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、2025年を初年度とする中期経営方針「GO BEYOND 2030」に基づき、「収益性の向上」、「サステナビリティ経営の推進」及び「株主還元の強化」に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が274億7千9百万円(前年同四半期比0.2%増)となり、損益は、営業利益34億6千5百万円(前年同四半期比26.9%減)、経常利益36億8千7百万円(前年同四半期比24.2%減)となりましたが、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益により税金等調整前四半期純利益は71億4千3百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益45億9千万円(前年同四半期比59.0%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

ファインカーボン関連製品につきましては、欧州、中国を中心とした景気低迷および米国における関税政策の不透明感による国内外での設備投資抑制、並びにEV市場の減速による半導体関連市場からの受注減により、販売量が減少しました。電極材関連製品につきましては、市況低迷の継続および米国の関税政策による利益の圧迫がある中で、製造コスト削減および販売拡大に取り組みしました。

この結果、売上高は233億6千5百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業利益は21億4千6百万円(前年同四半期比42.9%減)と減収減益になりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維製品につきましては、航空産業向けの販売量が好調に推移しました。

この結果、売上高は32億5千6百万円(前年同四半期比43.0%増)、営業利益は11億3千万円(前年同四半期比44.7%増)と増収増益になりました。

(その他)

その他の事業につきましては、産業用機械において資材価格やエネルギー価格が高止まりする中で、適正価格による販売と製造コストの削減に努めました。

この結果、売上高は8億5千7百万円(前年同四半期比44.7%増)、営業利益は1億8千2百万円(前年同四半期比3.0%減)と増収減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19億3千8百万円増加し、842億8千7百万円となりました。

流動資産は、売上債権及び契約資産の減少5億4千万円がありましたが、現金及び預金の増加16億3千4百万円、棚卸資産の増加10億1千万円等により、前連結会計年度末に比べ18億6千9百万円増加し、481億8千9百万円となりました。

固定資産は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券の減少10億1千万円がありましたが、設備の取得による有形固定資産の増加7億1千7百万円等により、前連結会計年度末に比べ6千8百万円増加し、360億9千7百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ7千5百万円増加し、216億5百万円となりました。

流動負債は、仕入債務の減少3億4百万円、その他の流動負債の減少12億6百万円がありましたが、借入金の増加11億5千6百万円および未払法人税等の増加3億6千9百万円等により、前連結会計年度末に比べ5億3千4百万円増加し、190億7千3百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債の減少5億1千6百万円等により、前連結会計年度末に比べ4億5千8百万円減少し、25億3千2百万円となりました。

純資産は、配当金の支払が22億1千1百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益45億9千万円等により、前連結会計年度末に比べ18億6千2百万円増加し、626億8千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月8日の「2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信」において、公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,299	13,933
受取手形、売掛金及び契約資産	11,277	10,818
電子記録債権	1,927	1,846
商品及び製品	11,301	11,410
仕掛品	4,543	5,177
原材料及び貯蔵品	3,991	4,258
未収還付法人税等	27	2
その他	964	755
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	46,319	48,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,096	19,621
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,586	△11,926
建物及び構築物（純額）	7,509	7,695
機械及び装置	51,150	54,981
減価償却累計額及び減損損失累計額	△42,339	△43,902
機械及び装置（純額）	8,811	11,078
車両運搬具及び工具器具備品	4,230	4,475
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,446	△3,689
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	784	786
土地	3,575	3,576
建設仮勘定	2,183	443
有形固定資産合計	22,863	23,581
無形固定資産	182	141
投資その他の資産		
投資有価証券	10,431	9,421
繰延税金資産	599	717
その他	1,953	2,238
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	12,982	12,374
固定資産合計	36,029	36,097
資産合計	82,348	84,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,435	3,269
電子記録債務	653	514
短期借入金	9,016	10,173
未払費用	504	599
未払法人税等	1,165	1,534
前受金	270	431
賞与引当金	237	524
役員賞与引当金	64	38
受注損失引当金	—	3
その他	3,191	1,985
流動負債合計	18,538	19,073
固定負債		
長期借入金	196	200
繰延税金負債	1,570	1,053
退職給付に係る負債	698	754
役員退職慰労引当金	36	35
役員株式給付引当金	60	65
環境対策引当金	0	1
資産除去債務	62	62
その他	365	358
固定負債合計	2,990	2,532
負債合計	21,529	21,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,858	7,858
利益剰余金	34,454	36,833
自己株式	△1,969	△1,966
株主資本合計	47,745	50,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,921	2,651
為替換算調整勘定	336	863
退職給付に係る調整累計額	11	△26
その他の包括利益累計額合計	4,268	3,488
非支配株主持分	8,804	9,065
純資産合計	60,819	62,681
負債純資産合計	82,348	84,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	27,423	27,479
売上原価	18,932	19,946
売上総利益	8,490	7,532
販売費及び一般管理費	3,749	4,067
営業利益	4,741	3,465
営業外収益		
受取配当金	146	267
為替差益	—	34
受取保険金	0	33
持分法による投資利益	149	84
その他	156	99
営業外収益合計	452	519
営業外費用		
支払利息	39	80
為替差損	46	—
固定資産除却損	96	31
休止固定資産減価償却費	109	118
その他	36	67
営業外費用合計	328	297
経常利益	4,865	3,687
特別利益		
有形固定資産売却益	196	—
投資有価証券売却益	—	3,530
特別利益合計	196	3,530
特別損失		
火災損失	—	73
特別損失合計	—	73
税金等調整前四半期純利益	5,062	7,143
法人税、住民税及び事業税	1,560	2,221
法人税等調整額	43	△94
法人税等合計	1,603	2,126
四半期純利益	3,459	5,016
非支配株主に帰属する四半期純利益	571	426
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,887	4,590

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	3,459	5,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	482	△1,267
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△39	20
退職給付に係る調整額	31	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	—	513
その他の包括利益合計	475	△767
四半期包括利益	3,934	4,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,350	3,812
非支配株主に係る四半期包括利益	584	436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となります。なお、当該会計方針の変更に伴う該当事項はなく、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式給付信託(BBT)導入)

当社は、取締役の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に對して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は159百万円、株式数は456百株、当第3四半期連結会計期間の期中平均株式数は460百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(火災損失)

2025年8月29日に発生した当社富山工場の火災により焼損した生産設備および棚卸資産の損失額を特別損失に計上しております。当該損失には現時点で合理的な見積りが可能な範囲における見積額を含んでおります。なお、今後発生する費用につきましては、合理的な見積りが可能となった時点で計上いたします。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
ファインカーボン関連製品	17,052	—	—	17,052	—	17,052
電極材関連製品	7,501	—	—	7,501	—	7,501
炭化けい素関連製品	—	2,276	—	2,276	—	2,276
その他	—	—	592	592	—	592
顧客との契約から生じる 収益	24,554	2,276	592	27,423	—	27,423
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	24,554	2,276	592	27,423	—	27,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	17	512	530	△530	—
計	24,554	2,294	1,105	27,953	△530	27,423
セグメント利益	3,760	781	187	4,729	12	4,741

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
ファインカーボン関連製品	14,635	—	—	14,635	—	14,635
電極材関連製品	8,730	—	—	8,730	—	8,730
炭化けい素関連製品	—	3,256	—	3,256	—	3,256
その他	—	—	736	736	—	736
顧客との契約から生じる 収益	23,365	3,256	736	27,359	—	27,359
その他の収益	—	—	120	120	—	120
外部顧客への売上高	23,365	3,256	857	27,479	—	27,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	8	348	358	△358	—
計	23,367	3,265	1,205	27,838	△358	27,479
セグメント利益	2,146	1,130	182	3,458	6	3,465

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,162百万円	2,611百万円